

第 15 講 『 排尿障害 』

: 東洋医学では「癃閉」と呼ばれる。

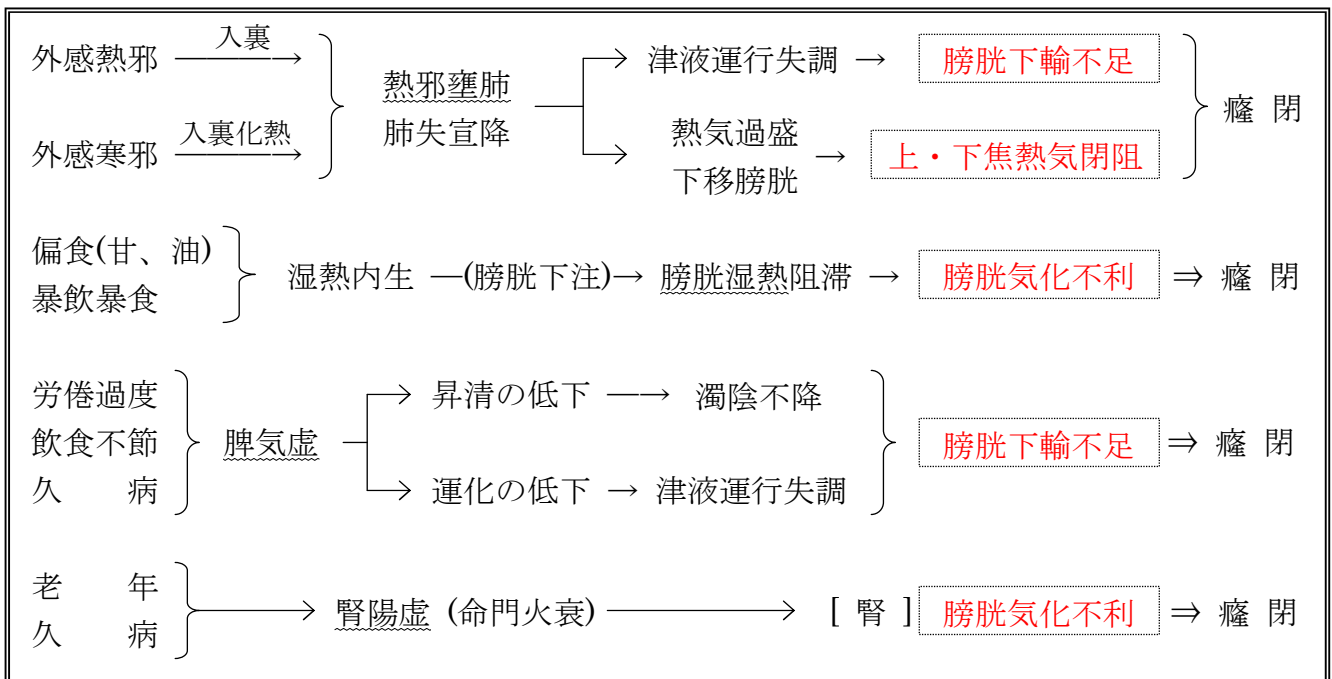
- { [癃] - 小便が出にくい、点滴して出る、緩慢に発症
- { [閉] - 小便不通、尿閉、急に発症

* 淋証との比較

- { 癃閉 : 排尿痛は無い、1日の総排尿量は健康人より少ない。
- { 淋証 : 小便頻急、滴るようになって切れが悪い、尿道にしみるような痛みがある (尿頻・尿急・尿痛)。 1日の総排尿量は正常。

- 【 分類 】 { 実証 : 肺熱、膀胱湿熱
虚証 : 脾气虚、腎陽虚

【 病因病機 】



【 弁証の要点 】

(1) 虚実

- { 実証 : 発病が急、病程が短い、体質が比較的良好、尿流窮迫、赤熱または短く渋る。
- { 虚証 : 発病が緩慢、病程が長い、体質は良好でない、尿流無力、精神疲弊。

(2) 主症状

- [肺 熱] : 口渇欲飲、口咽の乾き、呼吸促迫
- [膀胱湿熱] : 口渇不欲飲、小腹膨満
- [脾 気 虚] : 小腹墜脹感、肛門下墜感
- [腎 陽 虚] : 老年排尿無力、腰膝酸冷

【 症状と処方例 】

基本穴 :

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
関 元	任 脈	調理肝・脾・腎	前正中線上で臍下3寸
三陰交	脾 経	助膀胱気化	内果の上3寸、脛骨内側縁の骨際
陰陵泉	脾 経	健脾利湿	脛骨内側顆の下、脛骨内側の骨際陥凹部
膀胱俞	膀胱経	疏調膀胱	正中仙骨稜第2仙椎棘突起部の下外方1寸5分

1. 肺 熱

[症 状] 小便不暢或いは点滴不通、喉の乾き、口渇欲飲、呼吸促迫もしくは咳嗽、舌苔黄、脈数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
列 缺	肺 経	清肺熱利尿	太淵穴の上1寸5分、動脈拍動部のやや橈側取る
魚 際	肺 経		第1中手指節関節の上、橈側陥凹部、表裏の肌目

《随症加減》 熱が激しければ : 少 商

2. 膀胱湿熱

[症 状] 小便は量が少なく色は黄色、尿点滴、或いは尿閉、尿道痛、小腹急痛。口渇不欲飲、スッキリ排便しない。舌紅苔黄膩、脈滑数。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
中極	任脈	清利湿熱	前正中線上、臍下4寸
行間	肝經		足背、第1中足指節関節の前、外側陥凹部

3. 脾氣虚

[症状] 尿意を催すがスムーズに出ない、或いは量が少なくスッキリしない、息切れ、声は低く弱い、小腹の墜脹感、精神疲弊、食欲不振、舌淡、脈弱。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
太白	脾經	健脾利湿	足の第1中足指節関節の後、内側陥凹部
脾俞	膀胱經		第11・12胸椎棘突起間の外1寸5分

《随症加減》 { 下垂感 : 百会
 肛門下墜感 : 次髎

4. 腎陽虚

[症状] 小便淋瀝、または無尿、尿点滴、排尿無力。小腹部膨満、顔色が白い、精神不振、腰膝酸冷、舌淡、脈沈細、尺脈が弱い。

[処方例]

	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
命門	督脈	温腎利尿	第2・3腰椎棘突起間
太谿	腎經		内果とアキレス腱の間陥凹部